

令和7年度岡山県統計グラフコンクール募集要領

1 目 的

統計知識の普及と統計の表現技術の向上を図るため、県内の小学生、中学生、高校生、大学生等及び一般から統計グラフを募集します。

2 主 催

岡山県

3 後 援

岡山県教育委員会、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、山陽新聞社

4 応募部門

第1部 …………… 小学1・2年生の作品

第2部 …………… 小学3・4年生の作品

第3部 …………… 小学5・6年生の作品

第4部 …………… 中学生の作品

第5部 …………… 小中学生のパソコン統計グラフの作品

※ 第1部～第4部は、グラフ部分をパソコンで作成した作品は含みません。

第6部 …………… 高校生以上の作品（手描き・パソコン利用は問いません）

なお、上記において、義務教育学校の前期課程は小学生、後期課程は中学生に、中等教育学校の前期課程は中学生、後期課程は高校生に、特別支援学校の小学部、中学部、高等部はそれぞれ小学生、中学生、高校生に、短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校は高校生以上に相当するものとします。

5 課 題

課題は各部とも自由です。ただし、小学4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

6 応募の方法

(1) 応募作品の規格等

ア 規 格

各部とも、仕上げ寸法を72.8cm×51.5cm（B2判）とします（用紙は貼り合わせでもB2判であれば可）。

※市販のB2判の用紙は、規格より大きい場合がありますので、裁断するなどして規格を厳守してください。規格外の作品については、審査の対象外とします。

イ 紙質・色彩

各部とも紙質・色彩（単色にても可）は自由としますが、裏面の板張り（パネル仕上げ）、表面のセロハンカバーなどは認めません。

ウ 応募点数等

1人の応募点数は制限しませんが、2枚以上にわたる「シリーズもの」は認めません。

エ 合作の人数

1作品について、5人以内とします。

(2) 提出先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県 統計分析課 分析活用班

TEL：086-226-7258

(3) 締切日

令和7年9月4日（木）必着

（当課まで持参の場合は、締切日の17時までに持参してください。）

(4) 応募上の注意

ア 応募作品は、自分で創作したもので、未発表のものに限ります。

また、生成AI（人工知能）を利用して制作した作品は認めません。

イ ゆるキャラや五輪マークなど、第三者（応募者以外の者をいう。）が作成したイラストや写真等を使用しないでください（利用許諾の有無にかかわらず、第三者が作成した著作物の全部又は一部の使用を禁止します。）。

また、企業名や商品名も使用しないでください。

ウ 別紙1「出品票」に必要事項を明記し、応募作品の裏面右下にしっかりと貼り付けてください。

なお、住所、氏名、通学している学校名は、正しい字体で書き（略字は使わない）、必ず「ふりがな」を振ってください。

エ 自己の観察又は調査によった場合は、その観察又は調査の記録を別紙として付けてく

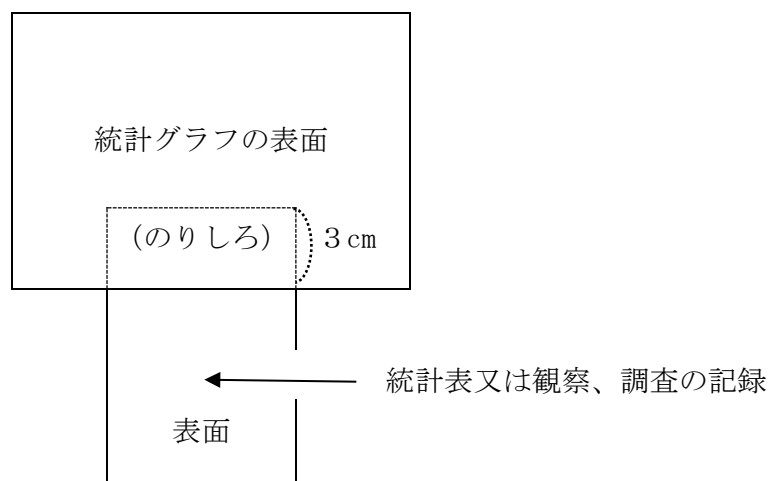
ださい。

オ 自己の観察又は調査によらないで、外から資料を得た場合は、その取材資料の出所を作品表面の適宜の位置に明記するとともに、統計表（取材資料）を別紙として付けてください。

カ 観察、調査の記録又は作品に使用した統計表（取材資料）は、B 5 判又はA 4 判の用紙に記載し、作品の裏面下部に 3 cm の「のりしろ」で、次の例のように貼り付けてください。

なお、統計表（取材資料）が 3 枚以上になる場合には、応募する部名、制作者氏名を記載した A 4 判の封筒に入れて、作品には貼り付けずに提出してください。

（例）



キ 小中学生の作品で、グラフ部分をパソコンで作成したものは、第 5 部に応募してください。

ク その他、別添 1 「グラフ作成上の留意点」を参考にしてください。

(5) 指導上の注意（指導者の方に）

児童、生徒を指導する際は、次のことについて特に留意してください。

ア 資料の選択や取扱方法についての示唆、助言は差し支えありません。

イ グラフの作成は児童・生徒の自主性を尊重し、技法的に介入しないでください。

ウ 切り紙又は折り紙をのり付けした作品、絵の具やポスターカラーを厚く塗り重ねた作品などについては、はがれ落ちることがないように十分に指導、点検をしてください。

エ 学校を通じて応募される場合は、別紙 2 「統計グラフコンクール応募者名簿」を作成し、提出してください。

7 作品の審査

(1) 審査基準

応募作品は、次の基準によって審査します。

ア 共通基準

- ① 誤りはないか
目盛り、単位の取り方、文字・数字、脱字、記入漏れ。
- ② 書き落しはないか
資料の出所、観察・調査の方法。
- ③ 的確か
見出し（主題）の表現、配色。

イ 各部別基準

第1部、第2部、第5部（うち小学4年生以下の作品）

子供らしい身近な課題をとらえて、ふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。

第3部～第6部

- ① 統計データを正しく理解し、グラフ化することによってデータの持つ事象が理解されやすくなるよう、工夫されているか。
- ② 訴えたい主題が的確にグラフに表れているか。また、主題は斬新で興味を喚起するものであるか。

(2) 審査員及び審査方法

県、県教育委員会の関係者及び県が委嘱した学識経験者により、(1)の審査基準に基づき審査を行います。各部とも最優秀賞、優秀賞を受賞した作品を公益財団法人統計情報研究開発センターが主催する第73回統計グラフ全国コンクールに出品します。

8 入賞作品の発表

令和7年10月上旬以降に、通学している学校（一般の場合は本人）に通知するとともに県のホームページで発表します。また、報道機関に発表します。

発表に当たっては、作品のテーマ、制作者の氏名、通学している学校名、学年（児童、生徒、学生の場合）を記載します。

9 表彰

各部最優秀賞については、11月に開催予定の令和7年度統計功労者及び統計グラフコンクール表彰式において表彰・展示します。

10 入賞区分及び賞

(1) 最優秀賞

各部 1 点（賞状及び副賞を贈呈）

(2) 優 秀 賞

各部ごとに、応募数が 30 点以下の場合は 1 点以内、31 点以上 50 点以下の場合は 2 点以内、51 点以上 100 点以下の場合は 3 点以内、101 点以上 500 点以下の場合は 5 点以内、501 点以上 1,000 点以下の場合は 9 点以内、1,001 点以上の場合は 11 点以内（賞状及び副賞を贈呈）

(3) 入 選

各部 5 点以内（賞状及び副賞を贈呈）

※ 副賞は 1 作品につき 1 つ贈呈します。

※ 応募者全員に参加賞を贈呈します。

※ 全国コンクール入賞者には、公益財団法人統計情報研究開発センターから賞状及び副賞が贈られます。

11 その他

(1) 入賞作品の著作権は、岡山県（ただし、全国コンクールの特選及び入選作品については、公益財団法人統計情報研究開発センター）に帰属します。入賞作品は、統計の普及啓発目的のため、その全部又は一部を場合によっては加工の上、岡山県等が作成する印刷物やホームページ等で使用されます。

(2) 本コンクールの応募に際して提供された個人情報、岡山県個人情報保護条例に基づき適切に管理の上、当コンクール関連事業にのみ利用し、本人の許諾なく第三者に提供しません。

入賞作品の制作者の個人情報は、統計の普及啓発目的のために入賞作品を使用する際に利用します。

なお、全国コンクールへの出品の際は、個人情報の取扱いについての同意書を提出していただいた上で、公益財団法人統計情報研究開発センターへ提供します。

(3) 応募作品は、原則として返却しません。コンクールの受賞決定の日から 1 年に限り、利用者の申請に基づいて貸出すことがあります。

(4) 入選作品は、令和 8 年 1 月頃、県内で展示する予定です。

(5) 問合せは、岡山県総合政策局統計分析課（電話 0 8 6 - 2 2 6 - 7 2 5 8）にお願いします。

グ ラ フ 作 成 上 の 留 意 点

過去の審査経過からみて、グラフとしては優れた作品であっても、**形式的要件が備わっていない**なかつたり、**内容に不備や過誤があるため、選外**とされる作品が多く見受けられますので、次の諸点に十分留意してください。

- 1 観察記録が添付されていること（自己の観察によった場合）。（要領 6(4)エ関連）
- 2 取材資料の出所をグラフ作品の表面上適当な位置に明記するとともに、その資料を別紙として添付すること（自己の観察によらない場合）。（要領 6(4)オ関連）
- 3 資料の数値等と作品のグラフの表示（数値等）とが符合していること。
- 4 作品につけた表題とグラフの内容とが一致していること。
- 5 使用した統計資料の時点が明示されていること。
- 6 誤字、脱字がないこと。
- 7 用紙の仕上げ寸法は 7 2 . 8 c m × 5 1 . 5 c m であること。（要領 6(1)ア関連）
- 8 パソコン統計グラフについては、必要により、手書き、彩色により見る人に楽しく、興味を持たれるよう創意工夫する。